

## ◇ はじめに ◇

広島県には、世界文化遺産の厳島神社、原爆ドームをはじめ、ユネスコの無形文化遺産である壬生の花田植、国史跡の広島城跡や安芸国分寺跡などの文化財や各地域で受け継がれている伝統・文化が数多くあります。また、毛利元就、頼山陽、菅茶山、池田勇人など歴史上の著名な人物も数多く輩出しています。

「郷土ひろしまの歴史Ⅰ」では、江戸時代までの広島県の歴史を、本教材「郷土ひろしまの歴史Ⅱ」では、明治時代以降の広島県の歴史と現在まで継承されている伝統芸能・文化や産業を取り上げました。中学生のみなさんには、この二つの教材を次のような視点で活用してほしいと思います。

それぞれの時代において、広島県や身近な地域はどのような様子だったのでしょうか。人々はどのように考え、どのように生きてきたのでしょうか。全国や他の地方、さらに他の国との関わりはどうだったのでしょうか。それらのできごとは現在とどうつながっているのでしょうか。

広島県で学ぶ中学生のみなさんが、郷土広島の歴史や伝統・文化に対する理解を深め、これらを愛し尊重する心をもってもらいたいと思います。そのことが我が国の歴史や伝統・文化をより深く理解することにつながります。

また、我が国や郷土の歴史や伝統・文化は諸外国の歴史や伝統・文化とも深く関わっていることを理解し、諸外国の歴史や伝統・文化を尊重し、ともに歩んでいける力を身に付けてもらいたいと思います。

さあ、この教材を活用して、広島県の歴史について理解するとともに、身近な地域の歴史を調べるときの調べ方や学び方を身に付けていきましょう。